

令和元年度 卒業式「校長式辞」

例年にない暖冬で、吹く風に春の温もりが感じられるこの佳き日に、本校父母と教師の会会長 村上真也様にご出席いただき、第73回卒業証書授与式を挙げてまいりましたこと、心より感謝申し上げます。

ただいま、卒業証書を授与された、卒業生の皆さん、卒業おめでとうでございます。そして、お子さんが健やかにたくましく成長することを心から願い、一生懸命にはぐくんでこられた保護者の皆様、お子様のご卒業 誠にありがとうございます。私たち教職員一同、心からお祝い申し上げます。

卒業生の皆さん。皆さんにとって中学校時代は、自らの可能性に挑戦してきた3年間でした。たくさんの出遭いや活動を通して、一步ずつ自立に向けた階段を登ってきました。その過程では、多くの喜びを味わうとともに様々な悩みや困難に直面し、乗り越えるべき壁が高くて苦しさを覚えたことも少なからずあったはずですが。皆さんは、そのような中で自分のペースを大切に歩み成長してきました。

最上級生となったこの1年間は、まさに郡山第四中学校の顔として、学習や生徒会活動、部活動等に率先して取り組み、多くの成果を上げてきました。

放課後、校庭や体育館、校舎内では、熱心に活動する皆さんの姿がありました。一人一人の頑張りは、各種大会・コンクールでも素晴らしい成果となって現れました。

学習面でも、進路の目標が明確になるにつれ学習への意識が高まり、少しずつ確実に学力を高めてきました。一生懸命に学ぼうとする姿勢は、皆さん自身を成長させる土台となったことと思います。

そのような3年間があったという間に過ぎ、今、旅立ちを迎えました。

これからは一人一人が自分で選んだ道を進んでいきます。その際、あらためて心に刻んでおいてほしいことを話します。皆さんが入学以来、生徒集会で「大切にしたいこと」として伝えてきた内容です。

先月の生徒集会では、5名のアスリートの生き方・考え方を紹介しました。「人の生き方・考え方から学ぶ」姿勢が、成長のヒントやエネルギーを得ることに繋がります。

12月には、航空券の入った財布をなくした高校生が見知らぬ方に助けをもらい、その後、再会を果たした話を紹介しました。「困ったときにはSOSを出すこと、そして感謝の気持ちを伝える」ことが人との関係づくりのために大切です。

2年の2月には、人気グループ「嵐」の解散の記者会見の内容を紹介し、「個性と共同体」について話をしました。「自分の夢や考えを大切にするとともに、チームを思う気持ち」が個人とチーム双方の発展には欠かせません。

同じ2年の11月には、「ドラゴン 8球団」というテーマで、大谷翔平選手が高校時代に作成した目標達成曼荼羅を紹介しました。「明確な目標をもつこと、そして柔軟な発想で方法を考え実践すること」がその後の成長に直結します。

そして、1年の12月には、私自身が中学校時代に入院し、退院後、同じ病室の同級生が亡くなった体験について話しました。「かけがえのない命を大切にすること」はどんな場合でも最も重要なことです。このことは、私が昨年十月に体調を崩したときに、再び自分自身のこととして実感したことであります。そして、学校に復帰した際、117名の皆さん一人一人の励ましや体を気遣うメッセージが書かれた色紙をいただき、どれほど元気づけられたかわかりません。本当にありがとうございました。「自分と自分の周りの人を大切に思う気持ち」をこれからも忘れないでください。

3年間かけて皆さんに伝えてきた「大切にしたいこと」5つを振り返りました。

今、世の中はめまぐるしく変化し、今後ともその傾向には更に拍車がかかり「予測が困難な時代」になると言われています。そして、急速な地球温暖化現象を始めとして世界規模の対応が迫られる課題も山積しています。そのような時代をしなやかにたくましく生き抜き、自分自身の夢・目標に向かって力強く歩みを進めていくための土台を、皆さんは郡山第四中学校で培ってきました。

これからは、さらに深まりのある学習や新たな出逢いが待っています。これまで以上に積極的に学び、自分自身を高める努力を続けることを期待します。

保護者の皆様、改めてお子様のご卒業おめでとうでございます。3年前、期待と不安を抱いて入学したお子様が、卒業を迎え、たくましく成長した姿をご覧になられて、感慨もひとしおではないかと拝察いたします。今後のお子様のさらなる飛躍をご期待申し上げますとともに、これまで本校教育活動にご理解ご協力をいただきましたことに心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

希望に満ち溢れた卒業生一人一人が、本校を心の故郷として、校歌にある「理想たかく たかくあおぎ いぎゆけ 歩みすこやかに」のとおり、自分の意志で選んだそれぞれの道を力強く歩んでいくことを心から願い、式辞といたします。